

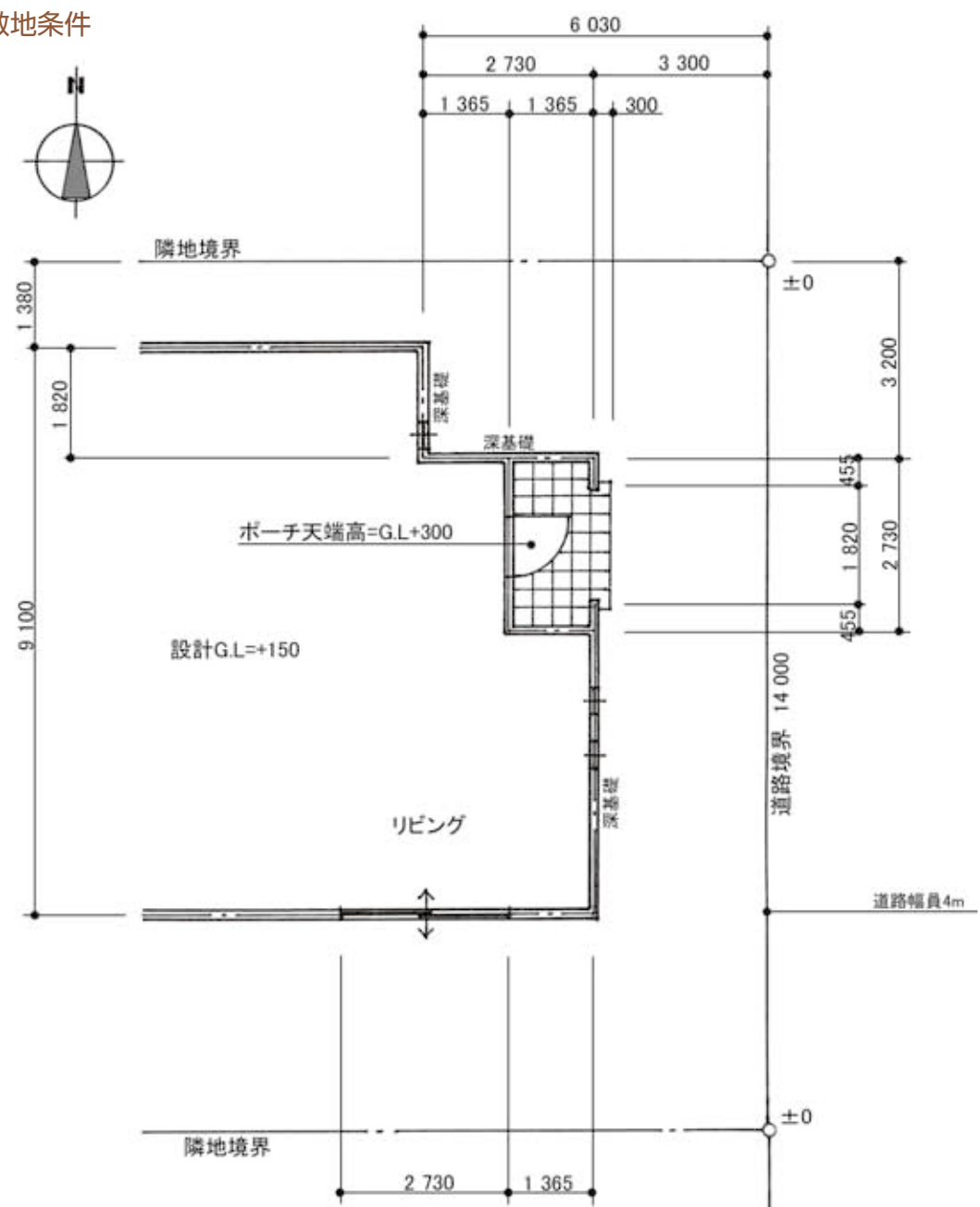
第2回目の課題について

それでは今回の新しい課題をご覧くださいませ。

敷地条件は東入りで、道路と敷地の高低差は150mmとなっています。

下記の敷地条件や施主の要望をふまえて、ゾーニング図・平面図・立面図（可能であればパース図）を作成し、次号の模範プランと比較できるように準備しておいてください。

1. 敷地条件



2. 施主の要望

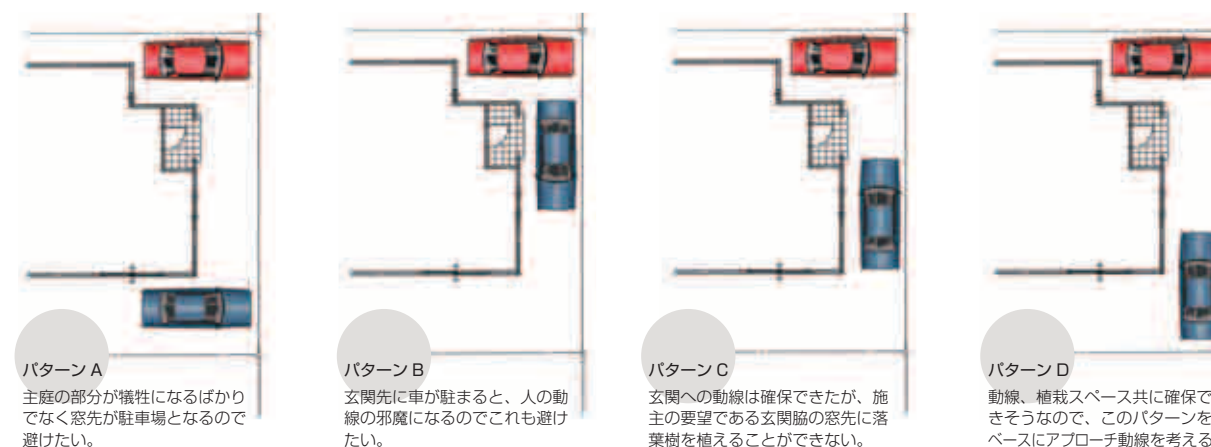
- 東側のスペースに駐車場と門まわり、アプローチを提案して欲しい。
- 所有している車は1台だが、来客用も含めて2台分の駐車場が欲しい。
- 玄関ポーチは最上段のみ決まっているので、もう1段はアプローチと合わせて計画して欲しい。
- スタイルはオープンスタイルとし、植栽スペースを多めに確保して欲しい。
- 門袖又は門柱を設置して、ポスト、表札、インターホンを付けて欲しい。
- 玄関脇にあるリビングの縦長窓と道路の間に落葉樹を植えて欲しい。
- 駐車場（又は道路）から南側の主庭への通路を確保して欲しい。

「私ならこう考える! ゾーニング手順と計画時のポイント」

今回私がプランニングする際に、どのようなことを考えているのかその一部をご紹介します。プランニングの参考にしてみてください。

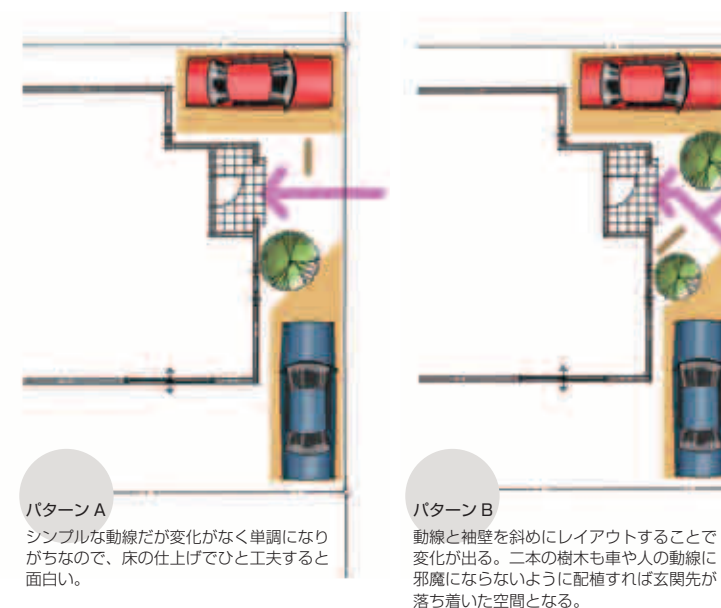
1. 駐車パターンの検討

まずは駐車パターンについて考えてみましょう。北側のスペースはちょうどよいスペースがあるので、1台はここに駐めるとしてもう1台をどこに駐めるとかを考えてみます。



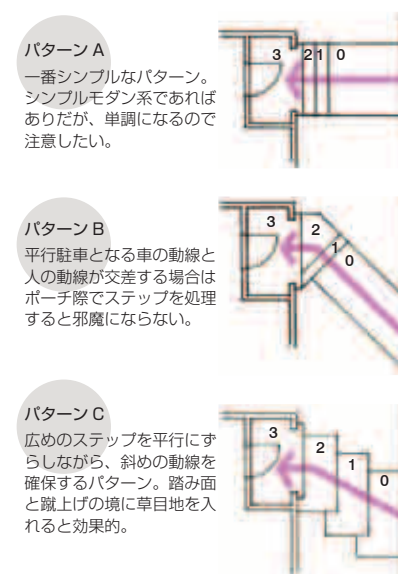
2. アプローチ動線の検討

アプローチの動線を考える場合、門袖壁や角柱、シンボルツリー、灌木類の植え込みスペースも含めて検討しなくてはなりません。



3. ステップの検討

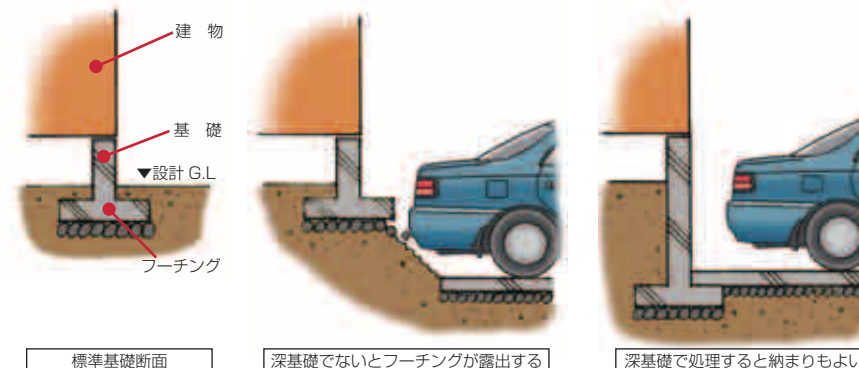
道路から G.L. まで1段、G.L. から玄関のポーチ天端まで2段のステップが必要となるので、その処理を検討しましょう。



ワンポイントレッスン

深基礎とは

一般的に建物の基礎は右図のように逆 T 型や L 型の形状をしていて、建物の荷重を地中に分散させて沈下させないようにしており、通常は地中に30cm程度埋まっています。狭小地や北入りの宅地では、基礎のすぐ際を駐車場とすることも少なくありませんが、この時道路と宅壁の高さ（設計 G.L.）の高低差が大きいと掘削により基礎の根入れ部分（フーチング）が剥き出しになり最悪の場合建物本体が傾くことにもなります。この場合、事前にエクステリア計画が出来ていれば今回の課題のように該当する部分のみ基礎を深くしておくことができ、問題は回避できるのです。このようなことから建物の計画とエクステリアの計画は同時進行で行うことが重要なのです。



模範解答は次号で掲載、解説しますので、以上のことをふまえて素敵なプランを考えてみてください。